



はじめにお読みください

設置や設定についての詳細は、取扱説明書をお読みください。

FAX-790CL FAX-790CLW 設置ガイド

brother

1 付属品を確認する

LE5596001

箱の中に次のものが揃っているか確認してください。

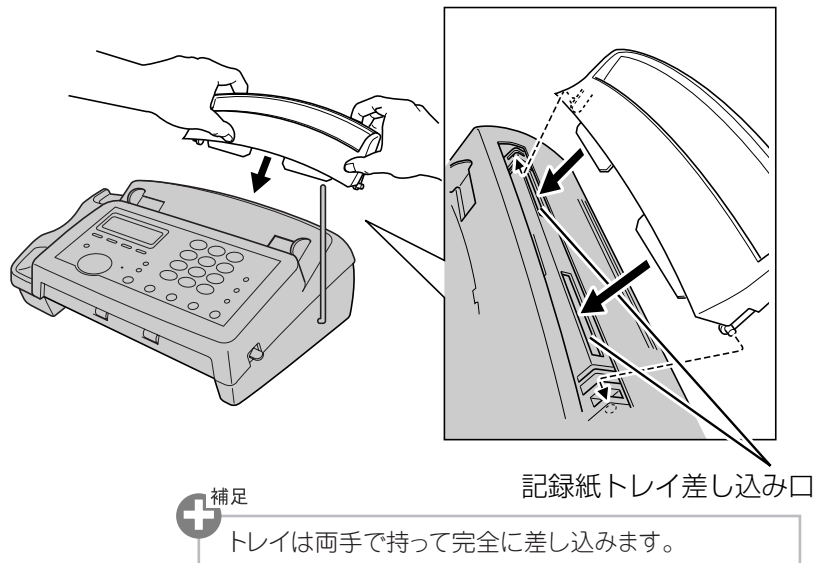
万一不足しているものがあつたり、取扱説明書に乱丁、落丁があつたときは、「お客様相談窓口 0120-161170」にご連絡ください。

<p>本体 1台 (リボンカートリッジセット済)</p>	<p>記録紙トレイ 1個</p>	<p>電話機コード 1本</p>	<p>受話器コード 1本</p>	<p>記録紙受け 1本</p>	<p>受話器 1台</p>
<p>お試し用 インクリボン</p> <p>リボンカートリッジ</p> <p>※本体の中にはA4サイズで約30枚分印字可能な「お試し用インクリボン」を取り付けたリボンカートリッジがセットされています。</p>	<p>子機 1台</p>	<p>子機充電器 1台</p>	<p>子機用 バッテリー 1個</p>	<p>子機用 ACアダプター 1個</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保証書 1部 取扱説明書 1部 記録紙 (A4) 設置ガイド (本紙) 1部 壁掛け用木ネジ 2本 子機用バッテリーカバー 1個

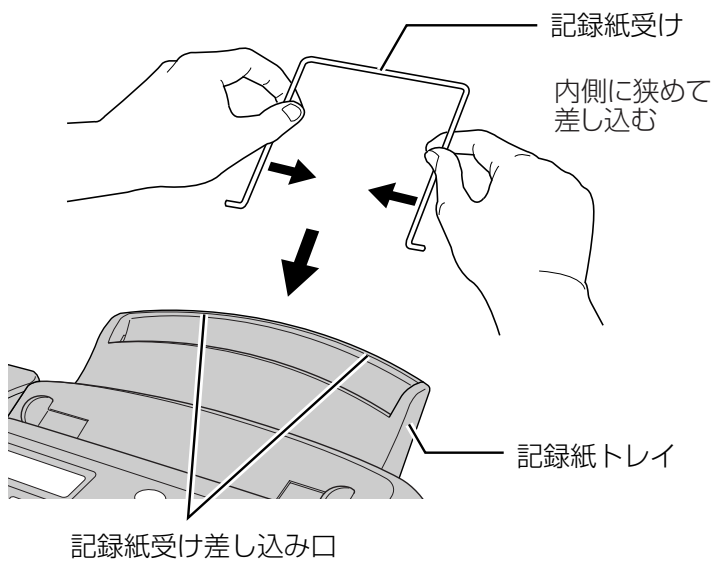
※FAX-790CLWには2台分の子機 (および子機の付属品) が同梱されています。

2 親機を準備する

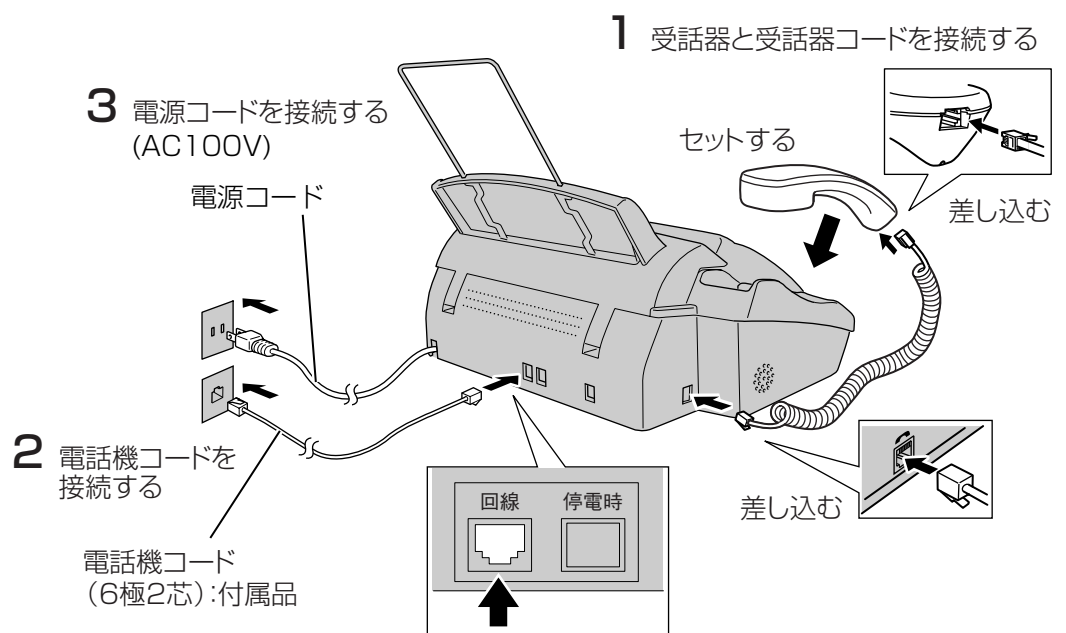
1 記録紙トレイをファクス本体に取り付けます。



2 記録紙受けを記録紙受け差し込み口に差し込みます。



3 電源を入れる前に、受話器と受話器コード、電話機コード、電源コードの順に接続します。電源を入れると続けて、回線種別の設定が行われます。(接続の順番を間違えると、回線種別の設定が正しく行われないことがあります。)



補足
電話コンセントがモジュラー式ではないとき

- 3ピンプラグ式の場合は、市販のモジュラー付き電話キャップを購入してください。
- 直接配線式の場合は、別途工事が必要です。最寄りのNTT窓口(116番)にお問い合わせください。

メモ

- 並列(ブランチ)接続はおやめください。正常に動作できなくなります。詳しくは取扱説明書(10ページ)を参照してください。
- ご使用のパソコンにPHONE端子がある場合は、1つの電話回線でパソコンと本機の両方を接続してお使いいただけます。接続のしかたはファクス本体の取扱説明書(108ページ)を参照してください。
- NTTのISDNおよびADSL回線をご利用の場合はファクス本体の取扱説明書(108ページ)を参照してください。

4 電源が入ると、自動的に電話回線の種別をチェックし、設定します。

チェック開始

補足

- 「デソク コト ヲ セツク シタガ サイ」と表示されたときは、電話機コードを接続し直してください。そのままにしていると回線の判断ができません。
- 構内交換機など一般と異なる回線につないでいるときは、自動設定できないときがあります。
- 回線によっては自動で正しく判別できないときがあります。そのときは、手動で回線種別を設定してください。詳しくはファクス本体の取扱説明書(12ページ)を参照してください。

カイセン チェック チュウ

チェック終了

補足

リボンカウンタについて
本機は出荷時に、約30枚分をプリントできる「お試し用インクリボン」があらかじめセットされています。初めて電源を入れたとき、「リボ ソウ コウサンマツカ？」というメッセージが表示されたときは(2) (イ1) を選んでください。

PB カイセン デ ス

回線種別を自動的にチェックできなかったときは...

補足

手動で回線の種別を設定してください。詳しくはファクス本体の取扱説明書(12ページ)を参照してください。
「カイセン ヲ ツク セツク シタガ サイ」と表示されている時も同様に手動で回線種別を設定してください。

カイセン シュベ ツカ セツク デ キマセン デ シタ

5 回線種別の設定が終わると、本機は自動的にコムスタサービスの登録を行います。

詳しくはファクス本体の取扱説明書(69ページ)を参照してください。

コムスタとは

「コムスタ」とは、NTTコミュニケーションズが提供するサービスで、下記の機能があります。全ての機能は使用料無料でご利用いただけます。(詳しくは、ファクス本体の取扱説明書(68ページ)を参照ください。)

1. ACR(自動電話会社選択)機能
2. 割引サービス簡単自動登録
3. 着信メロディーダウンロードサービス
4. 料金表示サービス

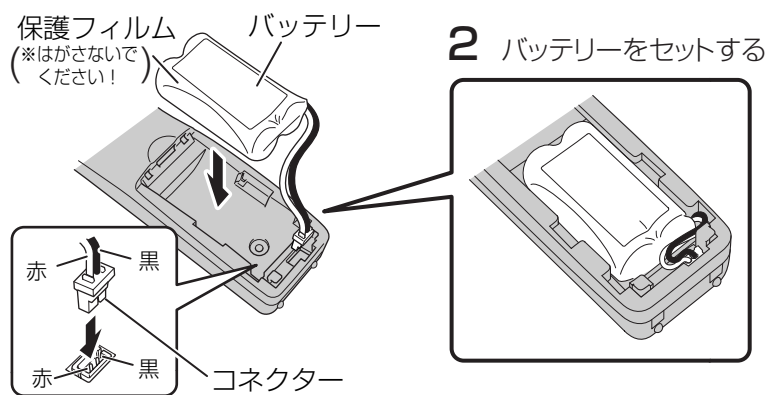
3 子機を準備する

1 子機にバッテリーをセットします。

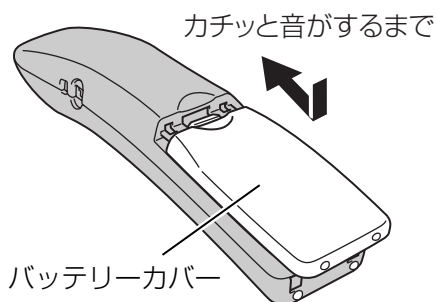
注意

- バッテリーを覆っている保護フィルムをはがさないでください。

1 下図の向きにコネクターを差し込む



3 バッテリーコードを押し込みながらカバーを閉める



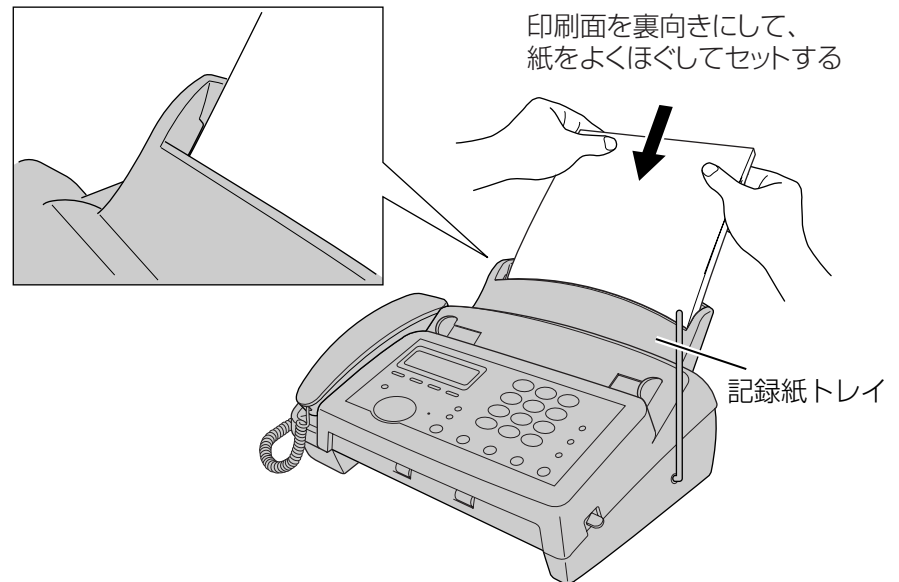
※バッテリーのコードをはさまないように注意する。

コムスタをご利用にならない場合は(コムスタ オフ)

コムスタをご利用にならない場合や、構内交換機(PBX)やホームテレホンの内線電話、ビル電話(CES)としてご利用になる場合は、「コムスタをご利用にならない場合は(コムスタ オフ)」(下記)の操作を行ってください。詳しくはファクス本体の取扱説明書(71ページ)を参照してください。



6 記録紙トレイに記録紙をセットします。

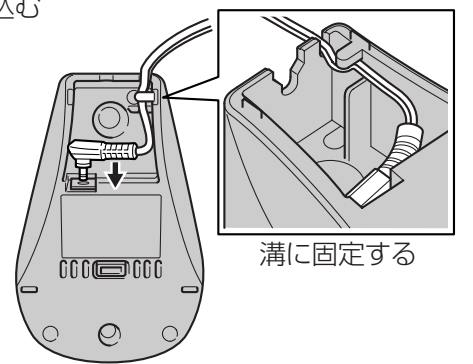


補足

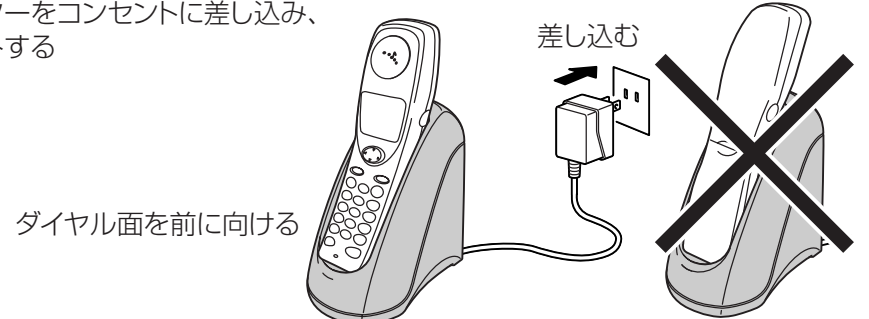
紙をほぐさずにセットすると記録紙が正常に送られないことがあります。

2 子機を充電します。はじめてお使いいただくときは、必ず15時間以上充電してください。

1 ACアダプターの電源プラグを充電器に差し込む



2 ACアダプターをコンセントに差し込み、子機をセットする



補足

- 充電器に子機をセットするとディスプレイに「ジ ュゲ ツ」と表示され(☑)が点灯します。バッテリーの容量が少なくなっているときは、充電器にセットしても「ジ ュゲ ツ」と表示されなかったり、(☑)が点灯しないことがあります。しばらく充電すると表示されます。
- いっぱいまで充電されても「ジ ュゲ ツ」の表示や(☑)の点灯は消えませんが、そのまま充電を続けても問題はありません。
- 充電器の端子が汚れていると、充電できなかったり子機が使用状態になることがあります。こまめに掃除してください。詳しくはファクス本体の取扱説明書(113ページ)を参照してください。

メモ

- 子機のバッテリーは消耗品です。充電しても使える時間が短くなったときは交換してください。交換時期の目安は約1年です。バッテリーはお買い上げの販売店または消耗品オーダーシート(ファクス本体の取扱説明書(135ページ)を参照してください)でお求めください。
- 子機を使用していないときは、必ず充電器にセットしてください。長時間放置しておくとバッテリーが消耗して使用できなくなります。